



角高だより



宮城県角田高等学校

〒981-1505

宮城県角田市角田字牛館1

☎ 0224-63-3001

FAX 0224-63-0523

HP <https://kakuko.myswan.ed.jp/>

Email kakuko@od.myswan.ed.jp

陸上部大躍進！ 東北大会に4名出場決定！

9月7日から9月10日まで弘進ゴムアスリートパーク仙台で開催された宮城県高校新人陸上競技大会で、2年南部栄太君(円盤投げ・角田中)、2年最上優君(ハンマー投げ・角田中)、2年鈴木瞬斗君(やり投げ・船岡中)、2年伊藤蘭さん(円盤投げ・船岡中)の4名が9月28日から9月30日に山形県天童市のNDソフトスタジアム山形で開催される東北高校陸上競技大会への出場権を獲得しました。陸上部は今大会4名の東北大会出場者を輩出するという大活躍をみせました。そのなかでも、やり投げの鈴木瞬斗は自己ベスト43m48cmから今大会48m81cmと大きく記録を伸ばし、こ一番での強さを発揮しました。他の選手たちも自己記録を更新するなど大いに奮闘しました。それらの活躍の陰にはチームを支えるマネージャーの存在も大きかったとチームメイトも話しており、東北大会には、マネージャーの2年谷津美夢さん(角田中)も帯同し、チームを支えます。



2位入賞の伊藤蘭さん 3位入賞の最上優君

<県大会の総括と東北大会に向けて>

陸上部顧問：今井重美教諭

表彰台への自信、緊張、不安と各選手が初めて経験する複雑な思いの県新人大会、この気持ちを吹き飛ばしてくれたのは、初日に競技があった最上のハンマー投げでした。決勝の最終6投目での逆転3位入賞、これが後続の3名に「自分もできる」との勢いをつけてくれました。最終的には4名が東北新人大会の出場権を獲得しました。種目が違って同じチームの中で切磋琢磨してきた成果が出たと思います。東北新人大会では今大会以上のさらなる緊張と不安を嫌がるのではなく、この舞台に立った選手だけが感じ、見ることのできる風景を存分に楽しみ、思い切った投てきで自分を表現し、大きく成長してくれることを願います。

<東北大会に向けての抱負>

伊藤 蘭：今井先生のアドバイスを胸に成果を発揮し、悔いの残らないよう全力で頑張ります。

最上 優：他校のライバルに勝てるよう頑張ります。

鈴木瞬斗：「この人格がいい!」と思ってもらえるように頑張ります。

南部英太：自己ベストを更新し、優勝します。

谷津美夢：東北大会に出場できない部員の分まで応援し、4人のサポートをしっかりと行ってきます。

“とちぎ国体報告”

9月10日(土)から12日(月)にかけて遠藤夕聖君(3年)が「いちごいち会とちぎ国体」に弓道競技宮城県代表として出場しました。国体では、遠藤君が所属する少年男子チームは予選敗退でしたが、県代表として角田高校の名を全国に知らしめてくれました。また、今大会では本校弓道部顧問の相澤教諭も宮城県チームのコーチとして国体に出場しました。



今大会、結果を残すことができませんでしたが、宮城県代表として戦うことができて良かったです。
弓道部
3年 遠藤夕聖

職員防災研修開催

9月15日(木)職員防災研修を実施しました。消火栓の使用方法、煙中通過訓練、避難はしごの使い方を研修しました。日頃、使用することのないものですが、万が一に備えるのが防災です。備えあれば憂いなしです。



避難はしご



煙中通過訓練

角高祭

<テーマ> ENJOY～今しかできない青春を～



ミス・ミスターコンテストの様子(3年次)

9月2日(金),3日(土)の2日間にわたって角高祭が行われました。今年のテーマは「ENJOY～今しかできない青春を～」。コロナ禍で様々な制限があるものの、今しかない高校生活を存分に楽しもうという意味が込められています。文化委員会を中心に、体育館でのステージ発表、校舎内での展示発表と模擬店、全校制作の準備を一生懸命に進めてきました。

1日目は校内発表で、2年ぶりに全校生徒が体育館に集まる形で開催することができました。角高祭恒例のミス・ミスターコンテストとクラス対抗パフォーマンス大会では、どのクラスも趣向を凝らした発表で、大変見応えがありました。また、角高祭の進行役も毎年の目玉となっており、今年度は3年の柴崎湊汰君、廣岡悠君、氏家紫苑君、新屋鴻志君の4名が会場を大いに盛り上げてくれました。



クラス対抗パフォーマンス大会の様子(2年次)



吹奏楽部

文化部によるステージ発表では、吹奏楽部、演劇部、合唱部が全校生徒の前で日頃の練習の成果を披露しました。

吹奏楽部は、3年生にとって最後となる発表の舞台でした。少ない人数の中でも一生懸命に練習に励み、見事なハーモニーを体育館中に響かせてくれました。恒例となっている教員とのコラポ演奏も、とても楽しく聴くことができました。

演劇部は、女優を諦めるべきか否かの葛藤を描いた素敵なお芝居を見せてくれました。自分のやりたいことに自信を持って挑戦しようとする姿勢の大事さを現代社会に訴えた物語で、観客の私たちにそのメッセージがよく伝わりました。

合唱部は、男女比が1:1となったことで例年以上にパワーアップした合唱を披露してくれました。合唱部の発表時には会場内のボルテージが最高潮に達し、聴いていた人全員が今にも歌い出してしまいそうになるほどの素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。



教員とのコラポ



合唱部



演劇部

<角高祭担当：遠藤翔太教諭>

コロナ禍での角高祭開催ではありましたが、平常時より近い形で実施できました。文化委員の皆さんが中心となり沢山準備してきたことが角高祭の成功に繋がり、心から感謝しています。角高祭後のアンケートでは、「実施して良かった」という肯定的な回答がほぼ100%で「全校生徒が楽しめた大満足の行事」になったことを大変嬉しく思います。2日目の一般公開では、実際に足を運んでくださった保護者の方々からも、学校での子どもの姿を直接見ることができて嬉しいです、という声も沢山頂戴しました。この紙面では伝え切れないほど、多くの生徒が角高祭で自身の役割を果たし、仲間と関わりながら、角高祭の成功を支えてくれました。3年生は高校生活最後の角高祭を思う存分満喫し、1・2年生は今年以上のものを次年度の角高祭で作り上げようと、気合いが入っている様子でした。次年度以降、より多くの皆様に御来場いただけることを願っております。